

澄宮殿下と我が幼稚園

女子學習院幼稚園 宇佐美 ケイ子

澄宮殿下には、昨年十月十一日に始めて、私共の幼稚園に成らせられました。十二月十一日まで、二ヶ月の間、毎日朝九時から十一時まで、一日の御缺席もなく成らせられました。唯今は葉山御用邸へ御避寒でいらせられました。三月末に東京へ御歸り遊ばされて、直ぐ學習院初等科へ御入學遊ばされますから、こちらにはもう御成りのない事と存じ上げて居ります。

雲の上深きあたりの方々の御事を、新聞雜誌で拜見して居りますと、これは少し褒め方が大げさではないか等と、恐れ多い事でございますが、思はぬ事もないではありませんが、澄宮殿下に今度お接し申上げてから、私共民間で承つて居る御事以上に、實に聞きしにもまさる、御立派な宮様でいらせられる事がわかりました。只今宮殿下には、満六歳、おん數へ年八歳にならせられます。實に、日本の幼兒達の御模範とも仰ぐべき御方でいらせられます。

一昨年頃より、澄宮殿下の御學友として、適當な兒童を選抜するやうにとの御命令がございましたので、伯爵令息小笠原忠幸、伯爵令息前田利信、子爵令息有馬丕善の三人を選び、毎週御殿に參上させて、御學友として居りました。それ故、幼稚園へ成らせられた時も、この三人を殿下の御側の席を取らせて、お親しみを多くして居りましたが、殿下には直ぐとお馴れになりまして、少しも御窮屈にはお感じにならないやうにお見受け申しました。

澄宮殿下には、幼稚園に於かせられましたは、全く他の兒童と同一の御扱ひを申し上げて居りました。たゞ朝御成りの時と、夕御歸りの時は、私共職員や園児が列をつくつて、お迎へ、御見送りを申上げるどころだけが、違つて居ります。朝九時だから、もう御成りだらうと、私共がお待ち申上げますと、雨の日も風の日も、一分の御時間さへたがへず、水兵服のやうな、いと、御可愛らしい御洋装で、御活

濱に玄關を御のぼりになる御様子、今でも目の前にちらついて居ります。此頃は、私共も園兒も、宮殿下がお成りがなくて誠にさびしい、もう一度一日でもよいからお成りがあればいい、とひまさへあれば、御尊申上げて居ります。

澄宮殿下が御勉強遊ばされた級は、紅葉の組と申しまして、この四月に小學部へ進み、最上級でございました。(私共の幼稚園には、男女兒合せて九十七名、紅葉の組及び藤の組が最上級、櫻の組及び菊の組が下級となつてゐます)。私共も、その級にはいつて、宮殿下の御様子を拜見して居りますと、他の兒童よりも遙かに、御手先が御器用でいらせられます。例へば、きざみものを遊ばす時でも、鉄の御使用道具が御上手でいらせられますこと、一枚の紙に小さい花の模様のあるのを、おきざみになる時等には、先づザク／＼と大ききをして、それから一つ一つ細くきざんでいらつしやる時等、中々御工夫がおりになります、又、縫ひ取り等を遊ばす時でも、右の御手で針をさして、左の御手で糸を御ぬきになるといふやうに、左右兩方の御手を御使ひ遊ばされるところ等、實に御賢明さがほとばしつて居られます。

す。大人であれば、手先きと頭腦とは別々に働くことがありますが、手先きの器用なるもの、必ずしも頭腦の勝れてゐるものとは限りませんが、子供時代には手先きの器用即ち頭腦の優秀なるものと見なしてよいのでありますから、澄宮殿下のこの御手先きの御器用さは、實に御頭腦の御勝れていらせられる事を、はつきりと御あらはしになつて居られます。

澄宮殿下には、總ての事に御趣味を有され、又御上達でいらせられる事は、新聞雜誌等で度々承つて居りますが、殊に立派な御童謡を御作り遊ばされるは、世間既に承知の事でございます、然し何等の御苦心もなさらず、折にふれて御感興の涌くまゝに御詠み遊ばされるのでありますから、生れながらの天才なる幼き詩人でいらせられます。昨秋御誕生日の折、私共も御招き下さいまして、御作の童謡に本居長世氏が作曲されたものを、本居氏令嬢が御前にて歌ひましたのを、承りましたが、實に御作は御立派でございます。左に御作の二三を述べて見ます。

一、月夜の空を

ツキヨノソラヲガントビテ

ミヤクンゴテンデソレミテル

二、金魚

キンギヨハアカクウツクシク
オイケノナカラオヨイデル

三、四十四五の

四十四五ノバアガクルマノアトラシヲ
シテラクラクトノボリケルカナ

四、雪

ユキハハナビトオンナシダ
マツカラバラバラオチテクル

五、御所から急ぎ

ミヤクンガゴシヨカラインギカヘルトキ
マチニデントウツキニケルカナ

六、田母澤川

タモザガワハハミヅキヨシ
ナンデモナガセナガナガセ

七、馬

ウマハタイソウカジコクテ
ムチヲアテレバヂキハチル

又、澄宮殿下には、カメラで御寫眞を取る事が御上手でいらつしやいまして、私共が御殿に上りますと、御自身で御寫しになつたの色々お見せ下さいます。ほんごに、御上手に取られて居ります。又ピアノも、皇后陛下から御習ひになつたさうで、あの

御可愛らしいまるくした御手で、ポツ／＼とやさしいものをお弾きになるさうで、それが又、聖上御病の爲め御苦勞多くいらせられる皇后陛下の、一番の御慰みになるか承つて居ります。

何しろ、澄宮殿下は實に御賢明のおん方でいらせられます。もう私共の幼稚園へ御成りの事のないのは、惜しまれましてございますが、たい二ヶ月にして、色々の印象深い御事柄をお殘しになりましたのは、私共一同誠に有難い事と存じて居ります。

さて、私共の幼稚園は、高貴な方々や上流社會の兒童達が居りますから、下町の幼稚園や託兒所に居られる方々が、何か違つた教育でもしてゐるのではないかと思ひになるかも知れませんが、幼稚園の教育方針は少しも異つてゐませんし、子供の世界は、伯爵の子供であらうが、勞働者の子供であらうが、いづこも同じであります。たゞ、他の幼稚園以上に心配しなければならぬ事は、園兒の健康でありまして、この健康状態を調査する爲め毎週一回必ず體格検査をいたして居ります。室内の溫度を高くして、園兒は皆裸にいたし、検査の前には便所にやるさか、注意して可成り嚴重に行つて居ります。昨年から始めたものでも早や一年にもなりますから、この體格検査から何か研究が出来ましたら、又御誌に發表させて頂きます。